

「卒業の認定に関する方針」（ディプロマ・ポリシー）について

（数学科）

数学科においては、以下の資質・能力を身に付け、所定の年限在学し、かつ所定の授業科目及び単位を修得した学生に学士（理学）の学位を授与します。

- 【A】 理学に関する幅広い教養を身に付けている。  
「知識・教養・倫理観」
- 【B】 現代数学の基礎としての微分積分学・線形代数学・集合論の基本的概念を理解し、計算力と応用力を身に付けている。  
「論理的思考力」
- 【C】 現代数学の大きな柱である代数学・幾何学・解析学の基本的な考え方を修得しているとともに、演習をとおして自分の思考過程を他者に説明する能力を身に付けている。  
「知識・理解」, 「論理的思考力」, 「説明する力」
- 【D】 科学全般の基盤として重要な確率論・統計学の基本的な考え方と応用力を身に付けている。  
「世界の理解」, 「説明する力」
- 【E】 情報数学・計算機科学の基礎並びに実用的な技能を身に付け、身に付けた技能を現実的な場面で活用できる。  
「問題解決力」, 「挑戦力」
- 【F】 純粋数学・応用数学・情報数学について、幅広い領域を概観することができる。  
「知識・教養」
- 【G】 教員を目指す者については、教科に関する知識を十分に持っていることに加え、学習内容を的確に生徒たちに教えることができ、知的好奇心をもって問題に挑戦する姿を生徒たちに示すことができる。  
「知識・倫理観」, 「挑戦力」, 「コミュニケーション力」
- 【H】 卒業研究・ゼミナールを通じ特定の分野を深く学ぶことにより、新たな問題を発見し、学んだことと問題の内容や関係等を明快かつ論理的に発表することができる。  
「問題解決力」, 「コミュニケーション力」